

春の褒章

喜びの県内受章者

2018年春の褒章受章者（29日発令）が発表された。県内の受章者は11人1団体で、社会奉仕活動に従事して功績を挙げた人らを対象にした緑綬褒

章が1団体、業務に精励した人に授与される黄綬褒章が3人、公共的な職務に貢献した人に贈られる藍綬褒章が8人。受章者が喜びを語った。

緑綬 社会奉仕活動功績

1957年に設立され、藤枝市内の公園や公共施設、沿道など地域の花壇の維持管理に取り組んで

藤枝市花の会



花のまちづくり推進

きた。会員約300人、賛助会員約70人が加盟する。江崎泰子名誉会長（83）は「長い間続けてきたことが実を結んだ。協力してくれている皆さんへの感謝の気持ちでいっぱい」と喜ぶ。

市が行う「ふじえだ花回廊」の事業でも連携し、一体となって花のあるまちづくりを推進する。活動中に「きれいな花だね」「いつもありがとうございます」などと声を掛けられることが、「やりがいになっていく」と声をそろえるメンバー。榎原とも子会長（70）は「章の名に恥じないよう今後も活動の輪を広げていきたい」と意欲を見せる。